

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和4年2月7日（月）
- 2 確認箇所  
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目  
陸側遮水壁測温管の温度上昇の対応状況

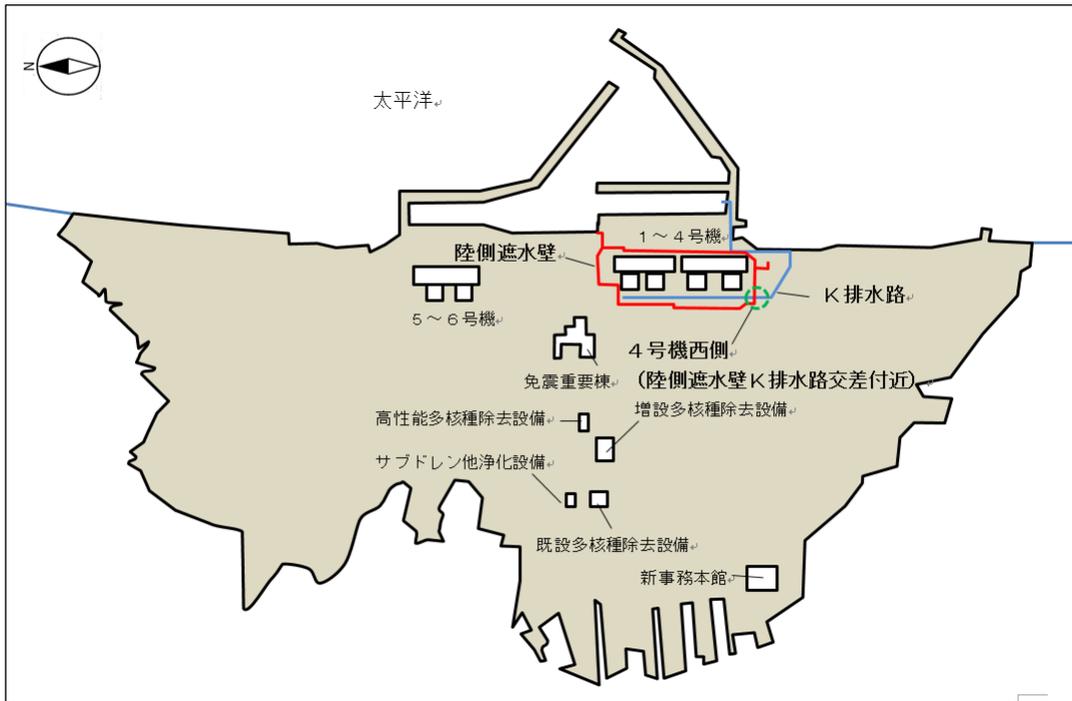
### 4 確認結果の概要

1～4号機建屋周囲に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）（以下「遮水壁」という。）の一部（K排水路交差付近）において、地中温度が0℃を超える状態が継続する事象（10月28日東京電力公表）が発生した。

東京電力では、地下を流れるK排水路の底部に湧水が確認されたことを踏まえ、地下水がK排水路に流入する過程で遮水壁の一部を融解し、地中温度が上昇している可能性があるとして、昨年12月13日までに地下水の流入を抑制するため上流側に鋼管を設置した。

しかし、その後も測温管の温度（地表下1m～3m付近）が上昇前に比べて高い値で推移していることから、原因究明調査の一環として測温管上流側の2箇所地下水の水みちの有無を確認するため、ボーリング調査を実施することとなったため、その状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・前回確認時（令和4年2月3日）、ボーリング調査地点にはガイド管として塩化ビニール管が設置されていたが、今回確認時にはボーリングマシンが構台上に設置されていた。なお、現場確認時には作業は行われていなかった。（写真2）
- ・東京電力によると、昨日（2月6日）の作業でボーリング調査の1地点目（A地点）で10m程度まで掘削したが、泥質部の地層（不透水層）が確認できなかったことから、本日（2月7日）、更に深く掘削を行い、泥質部の地層が確認できれば2地点目（B地点）のボーリング調査を行うとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



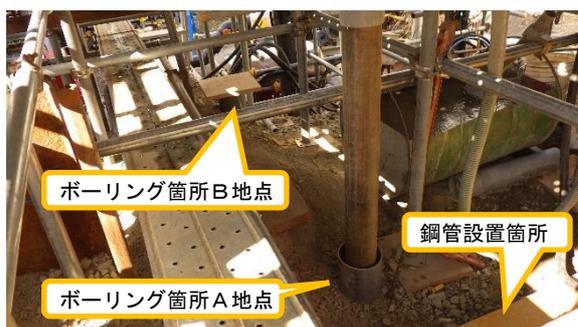
(写真1)  
掘削現場付近の状況



(写真2-1)  
ボーリングマシンの設置状況①  
(南東側から撮影)



(写真 2 - 2)  
ボーリングマシンの設置状況②  
(構台上、西側から撮影)



(写真 2 - 3)  
ボーリング箇所の状況 (構台下)  
(南東側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。